



農作業安全の取り組みについて

2022年8月23日 (火)





2021年度～2022年度の取り組み

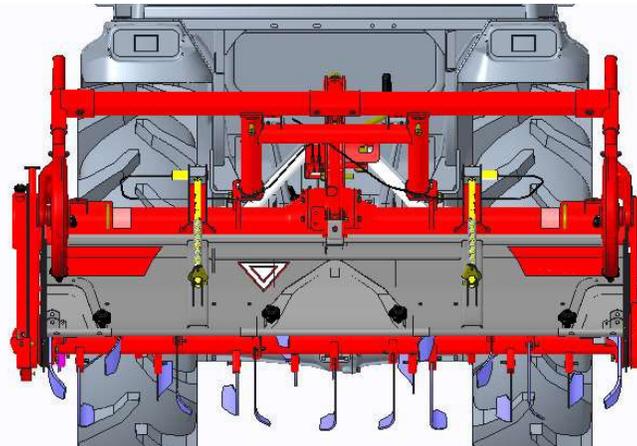
安全フレーム非装着車廃棄促進

- ◆ 安全フレーム非装着車市場台数削減促進の取り組み
- ◆ 2021年4月～2022年3月実施
- ◆ 全国一律展開
- ◆ 下取り車は、廃棄処分
- ◆ メーカーを問わずに対応
- ◆ 実績37台（2020年度～2021年度）



トラクタ公道走行対応

- ◆ 公道走行キット対応一覧カタログのホームページ掲載（2022年5月）
https://www.mam.co.jp/pdf/tractor_guid_ebook03.pdf
- ◆ 公道走行対応モデルの設定
純正ロータリーに制限標識、反射ラベルを同梱から標準装備へ（2022年3月）



農作業安全運動の活動

- ◆ シーズン前の点検整備励行
※事前点検でのトラブル防止
- ◆ 農作業安全ステッカー配布
- ◆ 農作業安全ポスター配布



2021年度～2022年度の取り組み

農作業安全啓発

- ◆ 農作業安全啓発（機種別）作成（2022/2月ホームページ掲載） <https://www.mam.co.jp/safe-work/>

トラクター作業の時は

ほ場作業だけでなく、公道走行の際にも特に注意が必要です。



・安全キャブ、フレームのあるトラクターを使用する

安全フレームは必ず立てて乗車してください。

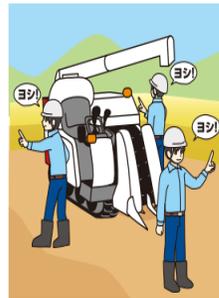


・シートベルトを必ず着用する

トラクターに乗るときは、必ずシートベルトを着用してください。

コンバイン作業の時は

補助者としっかり連携をとりながら作業しましょう。手こぎ作業は特に慎重に行ってください。



・始動前に周囲を確認する

始動、発進時は、周囲に人や障害物がないか確認してください。
補助者と作業を行う場合、ホーン等で合図をして安全を確認してください。

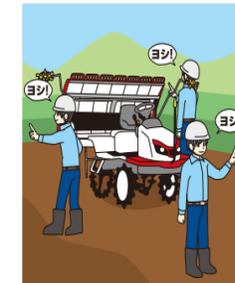


・あぜ越えは低速で、必ず直角に入る

あぜ越えやほ場への出入りのときは、低速にして、直角に横切るようにしてください。
段差が大きい場合は、アユミ板を使用してください。
あぜ越えやほ場から出るときは、グレンタンクから粉を出してください。

田植機作業の時は

不安定になりやすいほ場の出入り時は特に注意しましょう。



・始動前に周囲を確認する

始動、発進時は、周囲に人や障害物がないか確認してください。



・あぜ越えはアユミを使用し、直角に入る

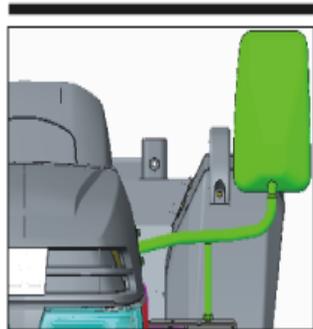
あぜ越えやほ場への出入りのときは、低速にして、直角に横切るようにしてください。
段差が大きい場合は、アユミ板を使用してください。
あぜを上がるときは後進、降りるときは前進で、ゆっくり行ってください。

2022年度～2023年度の取り組み予定

公道走行対応モデルの設定

- ◆ トラクタの左側後写鏡追加、後退灯移設
→公道走行キット対応から標準装備へ
※国交省へ型式認定（変更承認申請）予定

(B) ミラーキット



④GOE用 [K-MIRGOE]

(C) 後退灯移設キット



写真は②GA/GM用

従来の農作業安全啓発活動の継続

- ◆ シーズン前点検整備の励行
※事前点検実施により、トラブル防止
- ◆ ポスター、ステッカー配布
- ◆ 公道走行に関する部品、ガイドブックの案内



ASUMA保険サービス

“ASUMA” insurance

三菱農業機械をご購入いただき、保証登録カードをご提出いただいた方に ASUMA 医療コールサービスをご提供します。さらにトラクタ、コンバイン、乗用田植機をご購入のお客様には、ご購入者様のご負担なく無料で、安心の ASUMA 保険サービスを付帯させていただきます。もしもの時の安心をご提供するものです。「人も道具も、長く強く。」のメッセージとともに三菱農業機械を末永くご愛用ください。



もしものときの安心を

医療コールサービス 

死亡・後遺障害保険金 100万円

